

# 開拓伝道通信

## 「開拓伝道の祝福と力」 開拓伝道委員会 委員長 岡 摂也

ウェスレアン・ホーリネス神学院が設立されて28年が過ぎました。設立後の翌年から、卒業生を受け入れる事のできる教会は少なく、開拓伝道に遣わされました。その頃の私たちの群れの教会数は15教会でしたが、現在は約40教会に成長しました。このことは、ただただ、主の守りと主のくすしき愛の御業の故と主の御名を崇めます。しかし、開拓伝道をされた教師方は、働きながらの伝道、無から有を生み出す大変なご苦勞をされ、まだその途上にあります。

教会の開拓伝道は、初代教会が誕生したペンテコステに始まりました。その主の宣教の御計画は「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる」(使徒1:8)です。

### (1) 開拓伝道の方法

教団の開拓伝道は教団主体、教会主体、個人の使命など、様々(ユニーク)な動機で始められました。しかし、主の普遍的な開拓の方法があります。それは、開拓は神様御自身の業ですが、土の器であり、弱く欠けの多い、私達人間を通して行われるということです。それも、十字架と復活による救いを経験した主の証人を通してなされるのです(使徒2:31~32、使徒3:14~15)。主はあなたを必要としておられます。

### (2) 開拓伝道の場所

「エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また地の果てに至るまで」と宣教の場所が記され、使徒言行録全体を見ると、この通り実現しています。そして、その順番も大切です。まず弟子たちは今住んでいるエルサレムから始めるように命じられました。私たちの開拓も、今遣わされているその場所で祈り、証しするところから始まるので

す。

### (3) 開拓伝道の原動力

「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける」。私たちには力がありませんが、私たちが聖霊の力をいただくなら、私たちは人の心を動かし、日本や世界を動かすことが出来るのです。聖霊充滿、聖霊に満たされて、主の尊い働きのために用いていただきましょう。

開拓伝道委員会の使命は、大きく二つあると思います。一つは、開拓途上にある教師や教会の声を聞き、共に祈り、支え合うこと。もう一つは、主の大宣教命令に従い、教会を生み出し、すべての人に福音を宣べ伝えることです。そのために、ぜひ皆様のご意見やご要望をお聞かせくださり、共に主の業に励みましょう。

上大岡開拓~~~~~牧師・小寺 徹

→教団キャラバン隊による←

→「サマースペシャルタイム」←

5月から牧師兼務の都合で午後3時からのお礼拝になりました。8月18日~22日まで、宣教部キャラバン隊が伝道の応援をします。全国の兄弟姉妹の参加を求めます！トラクト5千枚配布。賛美集会(佐渡寧子姉一元劇団四季)、子供集会、映画会を持ちます。ぜひぜひお祈りください。

(上大岡キリスト教会)

新しい開拓伝道 始めています！

~まだ教団未加盟ですが、祈りの端に加えてください~

西佐津間家庭集会 牧師・山口秀樹、伝道師・山口紀和子 千葉県鎌ヶ谷市 礼拝開始 2011年5月1日

礼拝出席メンバー通常5人(家族、親族中心) 親族伝道が祈りの課題です。

エマオ聖書集会 牧師・千葉維保子 2016年4月より西東京市田無駅近隣家庭において、毎週日曜日の礼拝を中心とした活動を開始しました。小さな集會を覚えてお祈りください。①ビジョン：神の家族が日々、主の臨在・愛に心燃えるキリストの証人として、隣人に仕え、地域社会に遣わされること。②課題：子ども・家族・高齢者を大切に作る取り組みが一つ一つ実ること。祈禱課題：礼拝伝道の拠点となる集會所・住居が与えられること。「祈りで援助してください」(コリントの信徒への手紙2 1章11節)